

# 毎月19日は食育の日です！

市内の小中学校では三学期が始まり、子どもたちは久しぶりの給食を食べています。1月24日から30日までの期間は、普段食べている学校給食に感謝する「学校給食週間」です。この期間は、子どもたちが学校給食の歴史やテーマに沿った給食から、給食に携わる人々や、仲間と一緒に食べられる環境に感謝しながら給食を食べる週間です。

## 一学校給食の歴史一

日本の学校給食は、山形県の小学校で貧困児を救うために提供されたことが始まりです。その後、戦争のために中断しましたが、戦後の食糧難から児童の栄養状態が悪化したことで必要性が高まり、昭和21年12月24日に再開しました。また、同日に東京都の小学校では、ウラ（アジア救援公認団体）から給食用物資の支援を受けました。この恩恵に感謝すべき12月24日が冬季休業のため、翌月の1月24日～30日までの間が「学校給食週間」となりました。



明治22年



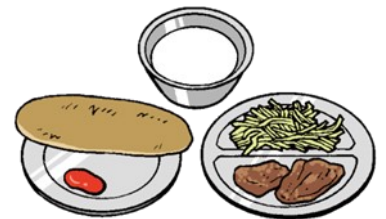
おにぎり 塩だけ 菜の漬物

昭和22年



ミルク(脱脂粉乳) トマトシチュー

昭和27年



コッペパン ミルク(脱脂粉乳) 鯨肉の  
竜田揚げ せんきゃべツ ジャム

昭和40年



ソフトめんのカレーあんかけ 牛乳 甘酢あえ  
果物(黄桃) チーズ

昭和52年



カレーライス 牛乳 塩もみ 果物(バナナ)  
スープ

今の給食



地場産物を活用したさまざまな  
献立がつくられています。

「平成」最後のこの時期は、各小中学校で「平成の給食」を象徴するメニューを取り上げ、振り返ります。みなさんにとって「平成」をイメージする「給食」は何でしょうか？



盛岡市では、平成30年3月に第三次盛岡市食育推進計画を策定し、毎年6月と10月を「もりおか食育月間」、毎月19日を「食育の日」と制定しています。「食育で進めるもりおかの豊かな暮らしと健康づくり」を目標として市民総参加の食育を推進しています。